

ふくおかフィナンシャルグループのお取引先企業の中から、サステナブルファイナンスやSDG5コンサルティングをご利用いただいた企業のサステナビリティの取り組みをご紹介します。

〈今回ご紹介する企業〉

総合電機株式会社

代表取締役

佐藤 淳一氏

取引店／十八親和銀行 本原支店

「ゼロからイチへ」
創出する姿勢をさらに強め、
社員全員でチャレンジする

機器の販売卸業から
設計施工・メンテナンスまで

当社は現会長の佐藤孝善が1977年1月に長崎県長崎市愛宕町にて個人創業した電気工事業者です。同年8月に総合電機販売会社を設立し、2006年6月に総合電機株式会社へ名称変更致しました。照明器具やエアコン、その他電気設備機器等の販売や建物の電気工事や空調

換気、給排水設備工事全般の設計施工及びメンテナンスや施設の省エネコンサルティング事業も行っています。当社では工事の一連の流れをすべて自社で対応できる体制を整えており、得意とする景観整備における外灯などの照明器具の設置工事では長崎県下でも屈指の規模を誇っています。ホテルや商業施設、その建物に付帯する外構の照明などを多数施工しており、皆様も目にされる機会も多いと思います。

太陽光発電事業へ参入

当社では2010年から太陽光発電設備の設置工事を開始しました。開始当初は太陽光発電パネルの販売会社から工事を請け負う形で

スタートしましたが、徐々に事業を拡大し、2019年からは太陽光発電所の開発や販売も行つて本格的に事業を開始しています。現在では会社全体の売上の3割を占める、当社の中核事業となっています。

太陽光発電パネルや関連機器はメーカーごとに価格や保証期間、保証内容やアフターフォローの体制に違いがあり、顧客の希望・要望に合う



社員集合写真(大村市の自社太陽光発電所にて)



太陽光発電設備の施行実績(西海市役所)

メーカーを提案できることが強みです。そのうえで太陽光発電設備を設置後も遠隔で状況を監視するシステムを備え、故障や災害による破損などに即座に対応できる体制を整えています。

西海市と連携協定を締結

2022年1月に西海市と「電気自動車及び再生可能エネルギーを核とした災害に強いカーボンニュートラルな地域づくりに係る連携協定」を締結しました。

西海市は環境対策や再生可能エネルギーの普及、防災対策などに取り組み、持続可能で強靱なまちづくりを目指しています。連携協定は当社以外にも十社程度参加しており、私たちはソーラーカーポートやEVインフラのプランニングや整備、太陽光発電設備のプランニングや整備、および地域マイクログリッド構築に向けたコンサルティングや蓄電池設置に関するプランニング・整備などを行っています。

よりよいエネルギーの活用に向けて

現在、太陽光発電は、FIT制度

における売電において使用されない余剰電力は捨てている形となります。当社は従来捨てている電力を活用するため、株式会社西海クリエティブカンパニーと連携し、発電電力を「捨てない」システムを作ろうとしています。

具体的には蓄電池を利用します。AIで発電した電力を制御し、電力が余った際には設置した蓄電池へ電力を貯めておきます。その後夜間など発電できない時間帯に蓄電池の電力を使用するという方法です。この方法ですと発電した電力を100%活用することができるため、経済的にも環境面でも自信をもって提案できると考えています。

ゼロからイチへ

西海市との連携協定では新たなチャレンジとして脱炭素事業に参画しました。有難い事に他自治体からもお声掛け頂き、ご支援させて頂いております。これからも「ゼロからイチへ」をスローガンに何もないところから事業や取り組みを産み出す、創出する姿勢をさらに強く持つて、社員全員ですべてにチャレンジし続けていきたいと思っています。

脱炭素社会に貢献するとともに、 会社の持続可能性を高める

太陽光発電事業の可能性

2012年7月に施行された固定価格買取制度（FIT法）によつて、売電を目的とした太陽光発電事業が爆発的に伸張しました。しかし現在ではFIT法へ移行したことにより売電価格が変動するため売電を目的とした太陽光発電事業はやや下降気味となっています。

当社が現在、顧客へ提案しているのは「自家消費型」の太陽光発電です。顧客へ保有する建物や土地に太陽光発電設備を設置していただき、発電電力を自家消費することで自社で消費する電力を再生可能エネルギーへ切り替えていく、そんな提案を行っています。顧客としても脱炭素社会への貢献と同時に電力コストを抑えることができます。電力会社の送電網を利用して遠隔地にある自社の発電所で発電した電力を自家消費できる整備も広がりつつあります。さらに今後、技術革新により蓄電池の性能が向上すると、太陽光発電の需要はますます増加していくものと考えています。

BCP対策の提案

近年気候変動リスクは相当なものとなっています。台風や豪雨による災害は以前は考えられないほどの被害を出していて、それに伴う停電や断水など人々の生活を脅かしています。

電気に関わる者として、停電による生活や事業継続に対するリスクは極力回避し、またその提案を行うことは社会に対する責務と思っています。

以前西海市の大島でクリニックを運営されている方から「停電で診察が数日間できなかった」との話をお聞きました。当社は太陽光発電設備と蓄電池を合わせて設置して、停電時に必要最低限の電子機器を2日間運用できるシステムを提案し施工しました。「これで停電になっても一定期間は診察ができる。」とご評価いただいたことがあります。

今後とも当社の事業をご提案することで、社会に貢献できることを誇りとして事業活動を行って参ります。

エンゲージメントを高める

私は自社の体制を維持し、事業を発展させていくうえで、最も重要なのは社員満足度を高める

ことだと考えています。これまでも社員の資格取得の支援や福利厚生などを充実させ、労働環境の改善に向け尽力してきました。実際に離職率は非常に低く、一定の評価を社員からも得られていると自負しています。

しかし近年のコロナ禍や気候変動による豪雨や災害などで働き方に対する考え方は日々変わっています。

また、長崎県の人口は今後さらに減少を続け、2020年には131万人であった人口が2050年には86万人まで減少するとの推計結果もあります。

当社はおかげさまで現在若い社員や女性社員が増えています。今後当社が存続し、持続していくためには企業価値を高めるとともに、従業員満足度を高めることを常に意識しながら取り組む必要があると考えています。



佐藤淳一社長

サステナブルファイナンス

十八親和銀行の

FFG本業支援ローンを利用

2023年10月に取引いただいている十八親和銀行本原支店にて、FFG共通商品であり、また十八親和銀行で新しく取り扱いを開始したサステナブルファイナンス「(FFG)本業支援ローン(サステナビリティ・リンク・ローン型)」を利用しました。

本ローンは融資時に当社が取り組んでいるサステナビリティの目標などを評価していただき、その後目標の達成状況により金利を引き下げるといったインセンティブを得られる商品です。融資の際に発行していただいた評価書は非公開とのこと、残念ながら皆様へご紹介できませんが、今回の手続きにより改めて自社の取り組みや考え方を再認識するきっかけになったと思っています。



〈FFG)本業支援ローン(サステナビリティ・リンク・ローン型)実行の記念楯を進呈(左から佐藤社長、小畑支店長)

世の中は気候変動や災害、世界各地で起きている戦争・紛争など様々な要因で激動の時代を迎え、人々の意識や考え方も日々変わっていています。そのような状況の中、地元企業が存続できるように金融機関も引き続き支援していただきたいと考えております。

総合電機 株式会社

■本社所在地：〒852-8133 長崎市本原町30番19号

■電話番号：095-849-1313

■事業内容：●照明器具、空調機器、その他電気設備機器等の販売卸業(代理店・特約店)

- 電気設備工事、空調換気設備工事、給排水設備工事設計施工及びメンテナンス
- 太陽光発電設備のご提案、設計施工及びメンテナンス
- 省エネ、電気代削減のご提案、補助金サポート
- EV車用充電器等のインフラ整備(設計施工)等



FFGでは企業のSDGs/ESGの取り組みを支援しています

FFG公式
チャンネルはこちら



ふくおかフィナンシャルグループ
営業統括部 サステナビリティ推進企画グループ
■お問い合わせ：TEL.092-723-2512

サステナビリティに
関することは
何でもご相談ください

ふくおかフィナンシャルグループのお取引先企業の中から、サステナブルファイナンスやSDGsコンサルティングをご利用いただいた企業のサステナビリティの取り組みをご紹介します。

〈今回ご紹介する企業〉

株式会社堀内電気

ほりうちでんき

代表取締役

堀内重夫氏

ほりうちしげお

取引店／福岡銀行 春日原支店

省エネから創エネまで確かな技術と信頼で未来を提案

憧れだった電気工事士

当社は福岡市博多区浦田に本社を置き、株式会社eパワー、有限会社太宰府電工、株式会社アール、株式会社雄電社のグループ会社4社とともに、九州の全県で一般電気設備工事や太陽光発電設備設置工事を中心に事業を展開しています。社長の私は昭和33年に長崎県の杵岐で生まれ、幼少期を対馬で育ちました。父が九電工の社員で離島に電気を通す仕事に携わっていて、

離島の住民が父をヒーローのように思ってくれていたのを目の当たりにしていました。私はそれから電気工事という仕事にあこがれを持ち、福岡に転居後は工業高校の電気科に進学して、卒業とともに電気工事の会社に勤めました。そこで5年ほど経験を積み重ね、晴れて電気工事士として独立しました。そうして1986年に堀内電気工事店を創業し、1997年に株式会社堀内電気を設立しました。個人創業から38年で、今や関連会社を含め73名の社員が頑張ってくれて



社長室で対談の様子。右から堀内社長、豊田支店長(福岡銀行、現・伊田支店長)



太陽光発電設備設置工事

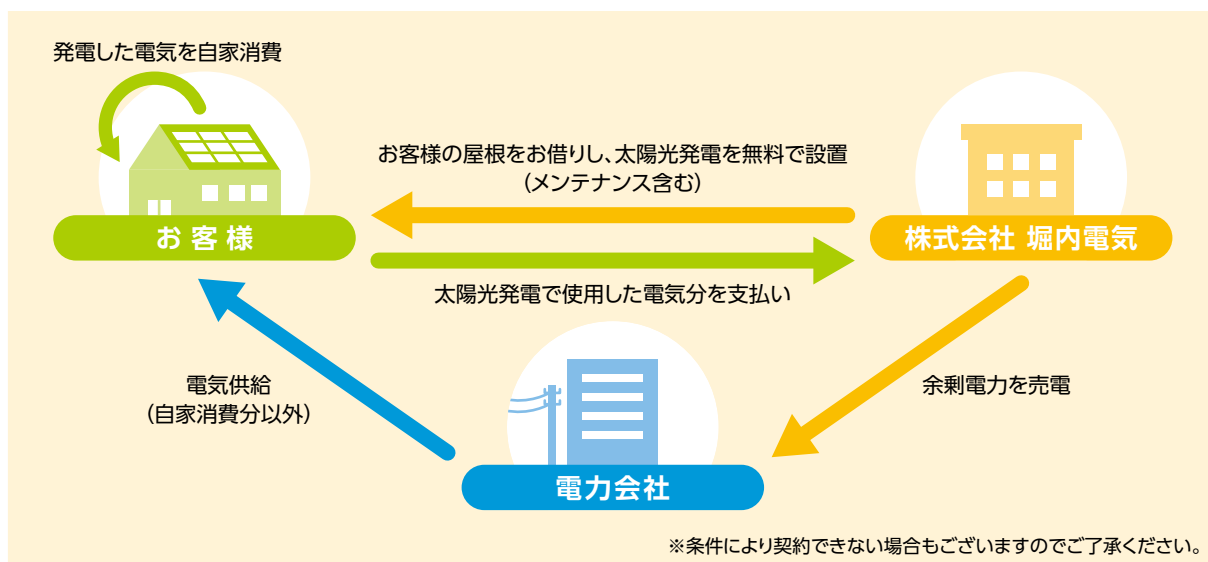
おり、ここまで発展することができています。

モルディブ共和国での 支援活動から太陽光へ

会社を設立した1997年、私はインド洋に浮かぶ熱帯の国モルディブ共和国での太陽光関連技術支援活動に呼ばれて参加しました。この活動はさまざまな障壁があつて最終的には撤退することになったのですが、この経験が原動力となつて、現在の太陽光発電設備設置工事業に活かされています。今から11年前の2013年、社用車に電気自動車の日産リーフを導入し、その後も燃料電池自動車のトヨタMIRAI、電気自動車のテスラを社用車に導入いたしました。自社所有の太陽光発電設備も2013年に初めて長崎県西海市に設置し、今では計31か所の自社所有太陽光発電設備が稼働しています。

屋根貸して事業

当社では「屋根貸して事業」という取り組みをスタートさせています。お客様の建物の屋根をお借りして太陽光発電設備を無償で設置します。お客様は発電した電気を自家消費し、その分の



屋根貸して事業の概要



屋根貸して事業の工事風景

電気代を当社にお支払いいただきます。その際にできた余剰電力は当社が電力会社へ売電します。お客様にも当社にもメリットのある、オンサイトPPAと呼ばれる事業で、契約終了後はそのまま発電設備ごとお客様に譲渡します。お問い合わせもたくさんいただいております。これからの当社の売り上げの柱になってくれることを期待しています。

へFFGへポジティブ・インパクト・ファイナンス 実行の第一号群として

当社は創業以来、さまざまなSDGsに関する取り組みを続けてまいりましたが、こうした取り組みを対外的にアピールすることによって、当社だけでなく業界全体に広げていきたいと考えていました。私は当社の社長というだけでなく、電気工事業

協同組合の要職を担っているものですから、太陽光発電設備の普及に努めています。そうしたタイミングでお取り引きのある福岡銀行春日原支店からへFFGへポジティブ・インパクト・ファイナンスの紹介を受けました。サステナブルスケールインデックスの受検、そして当社のサステナビリティ活動へのヒアリング、目標の設定、その目標に向かつての伴走支援を受けることになりました。

もともと当社ではエコアクション21を導入しており、電気の使用量や産業廃棄物の削減に取り組んでいました。ただそれはあくまでも環境面での課題解決であって、地域社会や社員たちに向けての取り組みを含めたものではありません。ダイバーシティの推進など業界平均をはるかに凌駕する取り組みを続けていますが、そうした取り組みをこうして評価書という形でまとめていただくことで、社外だけでなく社員に対してもアピールでき、まさに一石二鳥だったと思います。

今回利用したへFFGへポジティブ・インパクト・ファイナンスを使って、当社のサステナビリティ活動をさらに進化させ、環境にも、お取引先にも、地域社会にも、社員たちにも優しい会社を目指してまいります。



〈FFG〉ポジティブ・インパクト・ファイナンス実行第一号の証、記念楯を贈呈（右から堀内社長、豊田支店長）

株式会社 堀内電気

■本社所在地：〒812-0861 福岡市博多区浦田1丁目5番46号

■電話番号：092-513-3377

■グループ企業：株式会社eパワー、有限会社太宰府電工、株式会社アール、株式会社雄電社

■事業内容：電気設備設計施工、電気通信設備設計施工、太陽光発電システム設計施工



FFG公式YouTubeチャンネル
では当社へインタビューして
います。
こちらをご覧ください。



FFGでは企業のSDGs／ESGの取り組みを支援しています

FFG公式
チャンネルはこちら



ふくおかフィナンシャルグループ
営業統括部 サステナビリティ推進企画グループ
■お問い合わせ：TEL.092-723-2512

サステナビリティに
関することは
何でもご相談ください